

全国小児歯科開業医会 地方支援委員会について・・・ 委員会設置の経緯と現状報告

担当責任者：俵本寛志

全国小児歯科開業医会は、全国の子どもの幸せのためには、全国各地での小児歯科の発展が大切と考えてきました。そこで小児歯科の弱い地域、もっと発展してほしい地域などを対象に、研究会の設立に協力をしたり、小児歯科のさらなる活性化のための勉強会の支援をするなど、様々な協力体制をとることにしました。

そして3年前、全国で最も子どものう蝕が多いと言われていた沖縄に、小児歯科研究会の立ち上げの協力と、その後の研究会の開催の援助をさせていただきました。

もちろん今現在も、沖縄から何か依頼があれば、直ちにその要望に協力できる体制を整え、沖縄における小児歯科の発展に協力しています。

その後、全国各地の小児歯科が弱いと思われる地域の活性化を願い、協力できる地域の発掘を行ってまいりましたが、残念ながら担当部署を決めていなかったため、そのような地域を発掘することができませんでした。

全国小児歯科開業医会は、責任を持って全国各地の支援活動を行い、地域における小児歯科発展に協力するため、地方支援を担当する委員会を設立し活動強化を図ることを理事会で決定しました。

J S P P会長の池尾先生の指示のもと、担当責任者として過去に沖縄の研究会設立に関与した、俵本を委員長として今後の全国の小児歯科活性化の作業に当たることになりました。(2009年9月6日理事会)

池尾会長の指示を受けた俵本は早速、これからさらに小児歯科の発展が必要と考えられる地域の選定に入り、理事会の席で理事の中から出された、「沖縄の次は青森や九州地方ではないか」の意見を参考に、青森と佐賀に小児歯科活性化の作業に入ることにしました。

青森はむし歯大国の一つですが、実は俵本が支援体制を取ろうと考えた時はすでに、研究会が設立されていました。

青森と連絡を取ったものの、会があるのなら全国小児歯科開業医会の支援は必要ないのではないかと考えましたが、青森とのメール連絡の中で、それでも援助があるのは大いにありがたいとの返事を頂き、当地に赴くことにしました。

青森の方から見れば、J S P P担当役員が来るのは、本当は青森の小児歯科の発展より、何かほかに思惑があるのではないかという不信感もあったようです。

何度かのメールでのやり取りのあと、現地に赴いた(2009年11月29日)のですが、実際に会ってみてお話をすると、それまでの不信感などすっかり消え去り、今後のことに話がはずむ結果となりました。

青森に赴いて一番驚いたことは、私たちがこれまで行わなければいけないのにしてこなかったことが、私たちが遅れた地方と考えていた青森で実行されていることでした。

小児歯科と小児科や産科などとの連携が図られていたのです。

これは青森訪問の最大の収穫でした。

このような素晴らしいことを行っておられる、青森県小児歯科勉強会の皆様に敬意を表します。

担当責任者としてこの状況を、J S P Pの理事に知って頂く必要があると感じました。

当日私とともに青森に参加してくださった、地方支援委員会委員の北海道の岩寺環司先生、愛知県の北秀三先生からも、青森から是非担当者を決め理事会で報告して頂くべきだとの提言を頂き、2010年2月11日の理事会で青森県における現状を報告して頂くことになりました。

また2009年12月12日(土)には、地方支援委員会委員の大橋健治先生と俵本の二人が、佐賀に赴きました。

佐賀はすでに小児歯科研究会が設立されているところですが、最近になりその活動が停滞していると考えられた地域です。

佐賀市歯科医師会の会館で、今年度初めての会(佐賀の小児歯科研究会会長の言葉)だそうでしたが、会員ならびに会員外の先生20名ほどの出席があり、大橋先生と二人でお話をさせて頂くことが出来ました。

小児歯科の専門医や認定医が結構おられる地域なのですが、ここでも出席者とお話すると、J S P Pとの連携で全国の状況がいろいろ知れることは、会員にとっても大いに役立つと言ったものでした。各地の活性化のためには、できるだけ多くの情報をリアルタイムで発信することが、今のJ S P Pに求められていることだと感じました。今後の協力を双方で確認をし、今回の佐賀の訪問を終えました。

大切な情報か、必要なものか、あるいは会員に伝えるべきことかなど、われわれサイドで細かく判断するよりも、我々が得た情報で、ある程度会員に有用であろうと思われるものは、まず会員に発信することが大切だと、今回の地方訪問で感じて帰ってきました。間違った情報などあれば、分かった時点で直ちに訂正をする。会員から意見があればすぐに検討し、追加発信なり間違っていれば訂正をする。これらのことを行っていれば、とんでもない間違いは起こらないと思います。

これからも地方支援委員会は、全国の子どもの幸せを願う各地方の小児歯科が、さらなる発展を実現するための支援活動を続けてまいります。

活動に対し、ご意見や要望などあれば、どうぞ担当者まで連絡を下さい。自分の地方にも来てほしい、といった要望も受け付けています。

以上報告します。

責任者：俵本 寛志

大橋 健治、北 秀三、徐 成徳、加藤 真由美、岩寺 環司、土岐 志麻